

2025年度入学試験

試験問題

数学

注 意

1. 開始のチャイムが鳴るまで開いてはいけません。
2. 受験番号を解答用紙の2カ所に書き、答えはすべて解答用紙に書きなさい。
3. 問題は、**[1]**から**[5]**までで、6ページにわたって印刷しております。
4. 終了のチャイムが鳴ったら、すぐに筆記用具を置きなさい。

セントヨゼフ女子学園高等学校

1 あとの各問に答えなさい。

(1) $\{4 + (-6)\} \times (-2)^2$ を計算しなさい。

(2) $8xy^2 \div 6y \times 3x$ を計算しなさい。

(3) $x^2 - 8x + 16$ を因数分解しなさい。

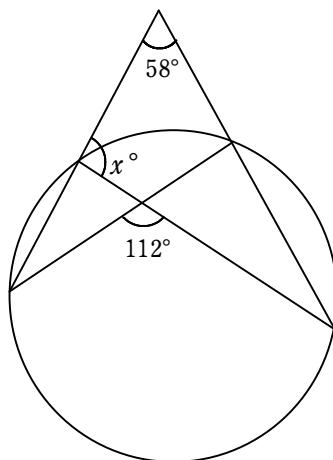
(4) $\left(\frac{12}{\sqrt{6}} - 2\sqrt{2} \times \frac{3}{\sqrt{3}} \right) \times \sqrt{19}$ を計算しなさい。

(5) 二次方程式 $2(x^2 - 6x + 9) - (6x - 18) - 20 = 0$ を解きなさい。

(6) 一次関数 $y = -3x + 1$ について、 x の値が -3 から 6 まで増加するときの y の増加量を求めなさい。

(7) 方程式 $2x + 3y = -x - 4y = 5$ を解きなさい。

(8) 下の図の $\angle x$ を求めなさい。



- (9) ある学校の生徒 20 人の 1 日あたりの SNS 利用時間に関するデータを集計し、箱ひげ図を考えます。このとき、以下の①～④のうち、正しい情報を選びなさい。

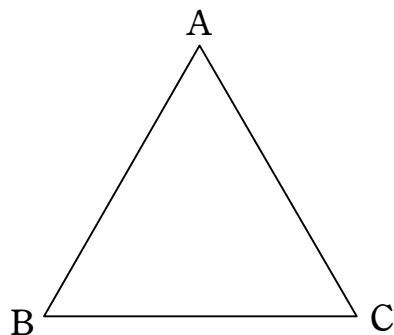
データ：生徒たちの1日あたりのSNS利用時間(分)

30, 45, 50, 55, 60, 65, 70, 75, 78, 80, 85
90, 95, 100, 105, 110, 115, 120, 125, 130

- ① SNS 利用時間が少ない 25 % の生徒は、55 分以下の時間を SNS に費やしています。
- ② 中央値は 77.5 分であり、これは全体の利用時間の中央に位置しています。
- ③ 利用時間が、105 分以上 130 分以下の生徒は、全体の 25% 未満です。
- ④ 四分位範囲は 45 分であり、生徒たちの利用時間に関するデータの約 50 % は、65 分から 105 分の間に集まっています。

- (10) 底面の半径が 4 cm, 母線の長さが 9 cm の円錐の展開図において、側面のおうぎ形の中心角の大きさを求めなさい。

- (11) 下の図の正三角形 ABC の辺 AC 上に、 $\angle APB = 75^\circ$ となる点 P を作図しなさい。ただし、作図には定規とコンパスを用い、作図に用いた線は消さずに残しておくこと。



- 2 ある中学校の理科の授業で、特定の光の条件下で育てた植物について調べました。下の度数分布表は、植物の成長高(cm)を集計し、作成したものです。このとき、次の問い合わせに答えなさい。

植物の成長高(cm)		
階級	度数 植物数(個)	累積度数 植物数(個)
0 以上 5 未満	2	2
5 ~ 10	6	8
10 ~ 15	15	23
15 ~ 20	20	43
20 ~ 25	10	53
25 ~ 30	7	60
計	60	

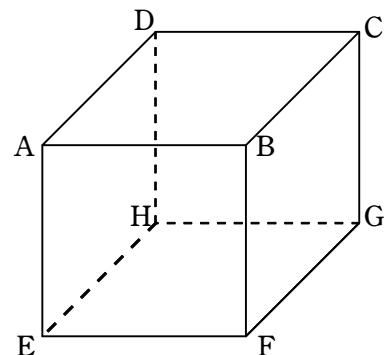
- (1) 中央値を求めなさい。
- (2) 成長高が 15 cm 未満の植物と 15 cm 以上の植物では、どちらが多いですか。
- (3) 以下のデータを追加したとき、新しい中央値を求めなさい。

2, 3, 3, 4, 5, 6, 6, 7, 8, 8, 9, 9, 10, 13, 14 (cm)

- 3 図のような立方体 ABCD-EFGH と、A, B, C, D, E, F, G, H の文字が 1 つずつ書かれた 8 枚のカードが入った袋があります。この袋の中から同時に 2 枚のカードを選び、そのカードに書かれている文字と同じ文字の立方体の頂点を通る直線を ℓ とします。このとき、次の確率を求めなさい。

- (1) 直線 ℓ と平面 AEFB が垂直になる確率

- (2) 直線 ℓ と直線 EG がねじれの位置になる確率



- 4 バレーボールの試合で、AチームとBチームが対戦しました。試合は公式ルールに従って行われ、3セット先取したチームの勝利となります。各セットは25点で勝敗が決まります。ただし、最終セット(5セット目)のみ15点で勝敗が決まります。この対戦が終わったあとの、AチームのRさんとBチームのYさんの会話を読み、との間に答へなさい。

Rさん「今日はいい試合だったね。」

Yさん「うん。1セット目はAチーム、2セット目はBチームが勝ったね。」

Rさん「序盤から接戦だったよね。この2セットで両チームがとったポイントは全部で86点もあるよ。」

Yさん「本当だ。2つのセットで負けたチームについて見てみると、2セット目のAチームの得点は、1セット目のBチームの得点の1.25倍になっているね。」

Rさん「緊迫していたよね。その空気のなかで3セット目をBチームに取られたときはどうなるかと思ったけど、4セット目で取り返せて本当によかった。」

Yさん「3セット目から5セット目は両チームで111点もとったんだね！」

Rさん「Bチームの4セット目はAチームの3セット目より2点少なかったけど、Bチームの5セット目より1点多く取ることができたんだね。」

Yさん「そうだったね！Aチームの5セット目は、Aチームの3セット目より6点少なかったね。最後まで諦めない良い試合ができてよかったよ。」

Rさん「次も良い試合ができるようにお互い頑張ろうね！」

Yさん「うん。」

- (1) 1セット目のBチームの得点を x 点、2セット目のAチームの得点を y 点として連立方程式をつくりなさい。
- (2) (1)の連立方程式を解き、それぞれの得点を答えなさい。
- (3) 5セット目のそれぞれのチームの得点を求め、どちらが勝ったのかを答えなさい。

5 放物線 $y = \frac{1}{2}x^2$ と直線 ℓ があり、その交点を $A(-2, a)$, $B(4, b)$ とします。原点を O として、次の問い合わせに答えなさい。ただし座標の1目盛りを1cmとします。

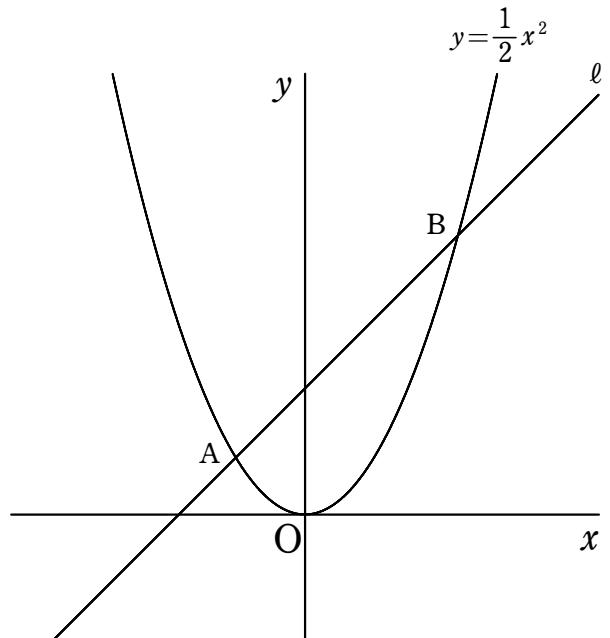
(1) a, b の値と、直線 ℓ の方程式を求めなさい。

(2) 放物線 $y = \frac{1}{2}x^2$ 上に点 O とは異なる P があります。

$\triangle OAB$ と $\triangle ABP$ の面積が等しくなるとき、点 P

の座標を求めなさい。

ただし、点 P の x 座標は -2 と 4 の間とします。



(3) 放物線 $y = \frac{1}{2}x^2$ 上に点 A, B とは異なる点 Q があり、 $\triangle OAB$ と $\triangle OBQ$ の面積が等しくなるとき、点 Q の座標

を求めなさい。

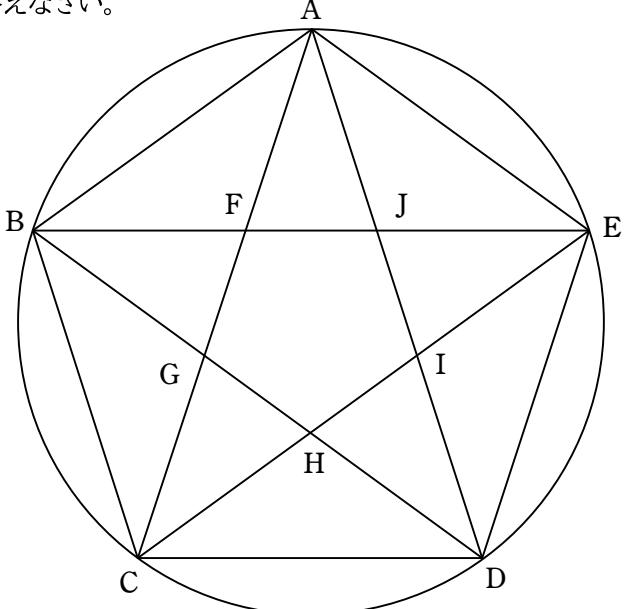
(4) (3) の点 Q において四角形 $OAQB$ の面積を求めなさい。

- 6 右の図のような、1辺の長さが1cmの正五角形ABCDEと、A, B, C, D, Eを通る円があります。図のように対角線の交点をF, G, H, I, Jとするとき、次の問い合わせに答えなさい。

(1) $\triangle ABC \equiv \triangle EAB$ を証明しなさい。

(2) 対角線ACの長さを求めなさい。

(3) 正五角形FGHIJの面積は、正五角形ABCDEの面積の何倍かを求めなさい。



これで問題は終わりです。